



京都 YWCA

11 2019

YWCAは、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。

若い女性を応援する組織、YWCAの一員として ～京都 YWCA のユースたち～

「若い人がいない」は本当？！

今注目を集めているSDGs—国際社会の共通目標であるSustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の担い手としての次世代・女性のエンパワメントが政府のアクションプランに盛り込まれています。こうした国際社会の動きに先んじて、YWCAは若い女性のエンパワメントに取り組んできました。

しかし、日本各地域のYWCAでは「若い人がいない！」という声が聞かれます。京都YWCAでも、次世代への継承・ユース育成が重要課題と認識され、2017年度より会員活動統括部門でチームをつくり、他市YWCAとも連携してユース育成に取り組んできました。今年度はユースとの協働・関わり・受けとめを意識し、現状把握が必要との認識から、連携する地域YWCA運営委員会間でアンケート調査を行いました。

京都 YWCA に関わるユースの現状

京都YWCAでいう「ユース」とは、概ね中学生から30歳までの人を指します。昨年度活動現場で見たユースは100人以上。思いの外多くて驚きます。では、どのような活動や事業に、どのような人たちが、どのような立場関わっているのでしょうか。学習支援活動では、大学生が中心となって多文化ルーツの小・中・高校生をサポートしています。

長期休暇中の小学生のための居場所プログラム「ガジュマルの樹」では、大学生だけでなく、中・高校生もリーダーとして活躍してくれています。「子どもたちと過ごすのが楽しいから仕事を休んで来る」という社会人ユースリーダーもい

ます。

日韓ユースプログラムや東日本大震災被災者支援プログラムの参加者。若者就労支援事業所でもある「うららかふえ」のボランティア。京都YWCA会館を生活の場としている留学生のための「あじさい寮」と自立援助ホーム「カルーナ」の利用者。彼らのサポーターにもユースが関わっています。会員活動の主体である委員会メンバーとしても頑張ってくれています。近隣の学校YWCAとの相互交流も進んできており、学校YWCAのメンバーがそれぞれの興味関心に応じて、京都YWCAの活動やプログラムに参加するようになってきました。

平和な社会実現への種蒔きとして

改めて一人ひとりのユースの顔を思い浮かべると、多彩なユースがそれぞれの育ちの姿を見せていることに気が付きます。「多世代多文化ふれあいコミュニティづくり」に取り組む京都YWCAは、若い女性を応援する組織として、さまざまなつながりと絶対的な安心感の中で、それぞれに育ち合える機会を提供することができます。

今年度は11月に南アフリカで行われる世界YWCA総会に、京都YWCAから4名のユース会員を送ることになりました。世界的なネットワークを持つYWCAだからこそ得られるプレゼントを受け取った彼女たちが平和な社会を実現する原動力となることを願い、京都YWCA全体で募金活動などを通じて、応援に取り組んでいるところです。

（ユース育成検討チーム）



京都 YWCA に関わるユースで語り合う



世界 YWCA 総会に向かって「はばたけ！」ワークショップ準備の様子



ガジュマルの樹では、高校生チームもがんばります



～「うららかふえ」が 5周年を迎えました！～



“ふれあいの居場所食堂「うららかふえ」”がオープンしたのは、2014年9月9日。京都YWCAのさまざまな活動の中で、「誰でも立ち寄れてほっとできる場所がほしい」という会員の長年の思いが結実したカフェです。オープンに先立つ試みは、月一度のリサイクルセールのときに、ネルドリップしたコーヒーとお菓子をロビーで提供することでした。

ウィリアム・メレル・ヴォーリズが設計し築80年を超える建物、サマリヤ館でのオープンが決まってからは、照明やテーブル、椅子、キッチンの仕様など、制限のある中で一つひとつ検討し、多くの方々の知恵と援助で準備を整えました。会員が持ち回りでランチをつくる、しかもほとんどの人が初めて経験する大量調理、ハードの準備は整っても、ソフト面では不安を抱えながらのスタートでした。

今、うららかふえは、若者就労支援の場として、自立援助ホーム「カルーナ」の退所者が働きにきたり、京都市立中学校の「生き方探求体験・チャレンジ体験場所」になったり、また午後にはふたつの活動、「手話かふえ」、針仕事を皆で楽しむ「ちくちくかふえ」が定着してきています。いつもランチに来てくださる高齢

者住宅「サラーム」のどなたかの姿が見えないと心配になる、そういう見守りの場所にもなっています。

5周年企画では、ランチにはケーキのサービス、かふえで使用しているフェアトレードコーヒー・紅茶の紹介パネル、また、国連のSDGs（持続可能な開発目標）が私たちの日常に関わっていることを知ってもらうポスターの展示やすごろくを用意し、中古食器類の「のみの市」も実施しました。貧困、食、エネルギー、ジェンダー、環境、平和などの課題について、これからもお客様と一緒に考えていきたいと思います。

2020年4月には同じ敷地内に保育園が開園します。その保育園の園児や保護者の方々となつながら、どのような「居場所」としていくのか、かふえの仲間たちと話し合っています。

（篠田 茜）



5周年記念週間に掲示したSDGsポスター

認知症サポーター養成講座に参加して

9月30日、うららかふえのスペースにて小川地域包括支援センターの講師から「認知症って？」「認知症サポーターのできることは？」について学び、そのあと「こんな時どうする？」ということを考え、意見交換する時間がありました。京都YWCAの会員や職員以外に地域の人も参加してくださいました。

「認知症」は、発症時期、症状や進行具合も様々ですが、記憶障害、時間や季節の感覚が薄れる見当障害、理解や判断力の障害、計画を立て段取りをすることができなくなる実行機能障害、感情の起伏などが主な症状で、誰でもがなりうる病気だということです。

認知症になるとできなくなることが多くなりますが、できることはあります。認知症を理解し、障がいや補いながら、さりげなく様子を見守り、自然にサポートすることで、その人がこれからの人生をその人らしく生活していくことができるのだと思います。「驚かせない」「急がせない」「自尊心を傷つけない」ことがサポーターの基本姿勢だそうです。

一方、参加者の中に、先の見えない介護の日々を過ごし、自身に余裕がなくなっていく現状をなんとかしたいという思いで講座に参加されている介護者がおられました。介護者に寄り添うサポートも同時に必要だと強く感じました。

先日、大丸京都店ファミリー食堂で行われていた「注文をまちがえるレストラン@まあいいか labo きょうと」に行ってきました。接客をするのは認知症の方です。にこやかにエプロン姿で水やおしぼりを出し、注文を取りに来られます。もし注文と違ったものが運ばれてきても、お客さんは「まあいいか」、「ありがとう」と受け取ります。そこにはたくさんのスタッフの方々がいて、さりげないサポートをされていました。とても優しい居心地のいい空間でした。

京都YWCAも、誰に対しても優しい居心地のいい空間にしたいと思います。

（河野伴子）

シリーズ 保育園ただいま準備中②

東京 YWCA まきば保育園での研修から

京都 YWCA が保育園を開園するにあたり、これまで多くの保育園を見学させていただきました。中でも東京 YWCA まきば保育園には、多大なるご協力をいただきました。開園準備の初期には大沢千佳子園長に来洛いただき、京都 YWCA 会員・職員に向けて、女性の社会参画を支援している YWCA が保育園を運営する意義について語っていただきました。

今年 7 月末から 8 月初旬には、保育主任と共にまきば保育園で研修をさせていただきました。0 歳児から 5 歳児まで各年齢の保育を見学、体験のほか、保育士の皆さんのミーティングにも参加しました。保育室内は、遊びのコーナーづくりと園児、保育士の動線に配慮した工夫がみられ、園児たちは、それぞれの興味に応じた遊びに夢中になっていました。一人で遊ぶ子、お友だちと遊ぶ子、年下の園児がハサミを使うのに四苦八苦していると、自然に手伝う年上の子ども。にぎやかで元気な雰囲気の中にも子どもたちの「落ち着き」を感じる保育が展開されていました。

保育中に園児を大声で呼んだり、制止や禁止をする言葉は、全く聞かれませんでした。保育士同士のアイコンタクトや声を掛け合うチームワークの良さ。保育士さんに働いての感想を伺ったところ「余裕があって働きやすい」とのこと。その「余裕」が感じられる保育でした。園長をはじめ、

副園長、保育士、事務局のみなさんが 6 年間、子どもを中心に毎日の保育を大切に積み重ねてこられた結果だと感じました。

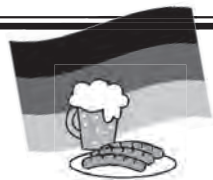
2 年前、はじめてまきば保育園に伺った際はキャンプ場かと思うほどの園庭の広さを羨ましく思いましたが、大沢園長が「まきばの保育の“良さ”は、園庭の広さじゃないんですよ」とおっしゃった意味が、今回よくわかりました。

まきば保育園とあじさい保育園では、集う子どもたちも保育者も、建物、敷地、地域性も違いますが、今回の体験、学びを参考に京都 YWCA あじさい保育園らしい保育が展開できるよう、保育主任、他スタッフと準備を進めています。

*東京 YWCA まきば保育園は『保育の自由』（近藤幹生 著、岩波新書）に紹介されています。（井上依子）



2 歳児お祭りごっこあそびの製作品



ドイツ便り

Guten Tag! 4 月からドイツ西部のノルトライン＝ヴェストファーレン州にある大学町ボーフムに夫と小 4 の息子と住んでいます。この地域は以前炭鉱で栄えたところ。

ビールとサッカーで有名なドルトムントが近くにあり、州都は日本人人口が多いデュッセルドルフです。

息子が通う現地の小学校では、親の出身国がドイツ以外という子どもたちが少なくありません。例えば、中東、アフリカ、東アジアです。

ここに住み始めて強く感じることの一つは、自分たちが「外国人」であるという意識を持たずに生活できているということです。その理由は、外に一步出れば、ドイツ語以外の言語が当たり前で聞こえてきます。当然、肌、髪、目の色もいろいろです。つまり、自分が「他とは違う」という意識を持つ必要がありません。

私は 8 月末からドイツ語教室に通い始めました。25 年前に数年ベルリンに滞在していたこともあり、とりあえず中級レベル 1 というコースに入りました。クラスは 20 人

弱で、出身国はインド、パキスタン、ロシア、イラン、トルコ、クロアチア、インドネシア、モロッコ、イタリア、コンゴ、コソボ、シリア、アフガニスタンです。年代やドイツにきた背景はさまざまで、本当に「世界はひろーい」と肌で実感しています。「ドイツ語文法、難しいよね～」とみなで話しながらも、楽しく勉強しています。

生活する中でももちろん不快なこともあります。例えば歩きタバコ天国であること、トイレは有料が多いこと、タトゥーをしている人がたくさんいることです。でもこれは私が感じる「不快」さであり、他の人にはそうではないことも事実です。とくにタトゥーはこの国ではファッションでありアートなので個人の自由に任されています。

滞在も残り 5 ヶ月を切りましたが、息子はドイツ語が全くわからない状況の中で「学校地獄やわ」と言いながらも、たまーに口から出るドイツ語はネイティブそのもの。うらやましい限りです。

(木戸さやか)



ドイツのビール最高!



京都 YWCA チャリティコンサート 「情熱のタンゴ」

名門タンゴ楽団として国外でも評価の高いアストロリコによる演奏と、タンゴダンス選手権でアジアチャンピオンとなった亮&葉月のダンスを楽しんでいただきます。皆さまの来場をお待ちしています。

日時：2019年11月30日(土)

開演 13:00 (開場 12:30)

会場：府民ホール アルティ

チケット：一般 4000 円 (前売 3500 円) 学生 3000 円
障がい者・小学生以下 2000 円

チケットは京都 YWCA、府民ホール「アルティ」にて販売中



「京都 YWCA 未来応援募金」への ご協力をお願い

「未来応援募金」として次の募金を実施しています。
ご協力をお願いいたします。

◎京都 YWCA 未来応援募金—保育園備品募金

保育園の備品等の購入をご支援いただく募金です。

◎京都 YWCA 未来応援募金—「れんが」プロジェクト (期間・数量限定)

特徴あるレンガ塀の上部を耐震のため取り除きました。取り除いた思い出のあるレンガを新しくできる門の周辺に敷く計画です。

1口：5,000 円 / レンガ 1 枚

募金期間：2020 年 2 月まで

郵便振替 01080-9-1566 加入者名 公益財団法人京都 YWCA

※通信欄に「未来応援保育園備品募金」あるいは「未来応援れんがプロジェクト」とご記入ください。

京都 YWCA へのご寄付の詳細は事務所に問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

<http://kyoto.ywca.or.jp/support>



お詫びと訂正：前号 552 号の第 1 面の写真キャプションに誤りがありました。
(誤) 京都 YWCA リトリートセンター (正) 京都 YMCA リトリートセンター
謹んでお詫び申し上げます。

9・10月／理事会報告

- あじさい寮留学生オリエンテーションと歓迎会実施 (9/7)
- 第 9 回保育園プロジェクトチーム・ミーティング開催。東京 YWCA まきば保育園研修報告および各委員会の開園後の活動構想を共有 (9/14)
- 多文化ルーツの親子リフレッシュプログラム：滋賀県立びわ湖子ども国を訪問 (9/28)
- 園庭準備として中庭の土入れ替え、本館北側通路を駐輪スペースとして整備、園舎鉄骨工事開始

- 京都 YWCA あじさい保育園 (仮称) 2020 年度入園説明会実施 (9/21、9/28、10/5、10/26)
- 高齢者住宅「サラム」秋の交流会実施：防災についてのお話と夕食会 (10/12)
- 「保育サポーター養成講座」を 10 月より全 5 回開催 (10/18、10/25、11/1、11/8、2020 年 2/29)
- 「うららかふえ」「レンタルスペース」等の料金一部改訂

今後のプログラム

◎環境問題学習会

「持続可能な社会」のために、日常生活から考える

■日 時：2019 年 11 月 9 日 (土) 14:00 ~ 15:30

■会 場：京都 YWCA (参加費無料 申込み不要)

■講 師：下村委津子さん (NPO 環境市民 副代表理事)

◎ほーぽのぼの学習会「沖縄に学ぶ」シリーズ 「関西沖縄文庫を訪ねて」

■日 時：2019 年 11 月 23 日 (土・祝)

午後 2 時 JR 大阪環状線「大正」駅 改札付近に集合

■参加費：1,500 円 申込み締切：11 月 20 日 (水)

ご協力ありがとうございました

2019年8月1日から9月30日 寄付者一覧(敬称略、順不同)

一般寄付

高橋正子、大山悠子、匿名

*多文化共生委員会

西森頼子

各指定寄付

*未来応援募金

JP インターナショナル(株)

—保育園備品募金

竹岡哲朗、奥山孝、小池しをり、
安藤いづみ、小林裕彦、大山悠子

—「れんが」プロジェクト

平野富希、奥山孝、安藤いづみ、
池上信子、岡昭男、有田孝子、
山崎美和子

*APT

上内鏡子、張善花

*自立援助ホーム「カルーナ」

船越克真、平野富希、上村愈巳子、
都木かおり、富田恵美子、
森本純代、岩井一枝、
パドマ幼稚園

京都府更生保護女性連盟、匿名

*賛助費

梓山悦子、北村保子、出店都

*世界総会派遣募金

神岡茂子

内部印刷にうれしい用紙
リサイクルトナー販売

今、話題の
3D印刷

デザイン・印刷・紙・トナー
株式会社 ユニティー

〒615-0052
京都市右京区西院清水141 ユニティービル2F
TEL.075-316-2341 FAX075-316-2392
E-mail: enter@p-unity.co.jp
ホームページ <http://www.p-unity.co.jp/>

経費節約に一番近い印刷屋

KYOTO YWCA No.553 2019 年 11 月号 (11月1日発行)

発行人：上村愈巳子

発行所：公益財団法人京都 YWCA

〒602-8019

京都市上京区室町通水上ル近衛町44

電 話：(075) 431-0351

F A X：(075) 431-0352

e-mail: office@kyoto.ywca.or.jp

H P：http://kyoto.ywca.or.jp

郵便振替：01080-9-1566

口座名義：(公財) 京都 YWCA

定 価：1 部 50 円

発 行：奇数月 1 日発行